ATL2801 キセノン・タイミングライト

ーバッテリー内蔵、インダクティブ・ピックアップクリップ付きー

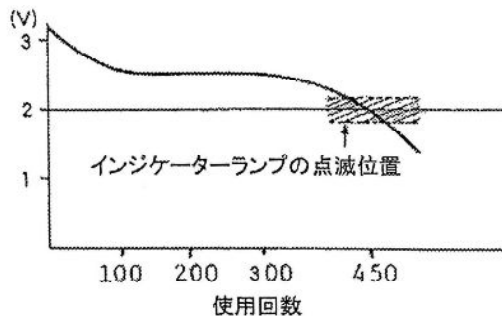
バッテリー（R20/1.5V×2）の点検

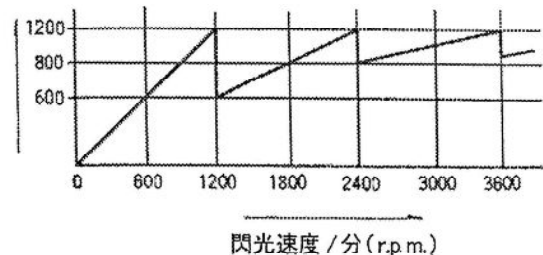
新しいタイミングライトをご使用になる前に、バッテリーがケース内に正しく取り付けられていることを確認します。 タイミングライトの本体に付いているトリガースイッチを ON/OFF にしたときに、バッテリー・インジケーターランプが点灯したり消えたりする場合は、バッテリーは正しく機能していますので、タイミングライトをご使用になれます。

！注意！

インジケーターランプの光が暗くなったら、必ず両方のバッテリーを新しいものと交換して下さい。
使用済みのバッテリーと新しいバッテリーを一緒に使用しないで下さい。

バッテリー寿命

下図は、20℃以下において一回の使用につき、720RPM で2分間連続作動させた場合のバッテリー寿命を示しています。

キセノン閃光速度

下図は、1分毎のキセノンバルブの閃光速度を示しています。 キセノンは 1,200RPM まではエンジン回転数に比例した速度で閃光を放ちますが、それを越えると、バッテリーの急速な消費を防ぐため、閃光速度は遅くなります。

！注意！

20℃以下においては、閃光速度は上記仕様よりわずかに遅くなる可能性があります。
温度が低い状況において、タイミングライトをご使用になる際は、必ずバッテリー容量をお確かめ下さい。

操作手順

タイミングを調べる前に取扱説明書を参照し、タイミングマーク、#1 シリンダーの位置、タイミング設定値および使用されるエンジン回転数を決め、また、その他の特別な指示がないかどうかを確認します。

1. エンジンを止めた状態で、タイミングマークの汚れを取ります。
2. エンジンを始動させ、タイミングに合わせて特定されている正しい回転数に保ちます（通常、アイドリング回転数と同じですが、回転数がそれよりも高く、あるいは低く調整されている車もあります。 メーカーの仕様書をご参照下さい。）
3. 製造者の指示がある場合、ディストリビューターのバキューム・アドバンスホースを取り外し、栓をします。
4. インダクティブ・ピックアップクリップを#1 シリンダーのスパーク・プラグコードへ接続します。タイミングライトを作動させ、指針に対するタイミングライトの動きを観察します。 キセノンが閃光すると、タイミングマークの動きは止まります。

タイミング調整

イグニッションタイミングは、ドエル、またはディストリビューターポイントが閉じている時間に影響されます。タイミング調整を行う前に必ずドエルがメーカーの仕様に合わせてセットされているかを確認します。ドエルをセットする際は、ドエルメーターをお使い下さい。

1. ディストリビューターのクランプボルトを緩め、ディストリビューターの本体を正しいタイミング値を得られるまで回します。
2. ディストリビューターのクランプボルトをしっかりと締め、タイミングをもう一度チェックします。 必要であれば再調整を行います。

タイミング・アドバンスチェック

タイミングライトはメカニカル、およびバキューム・アドバンス（またはリタード）システムの検査に使用します。これらアドバンス／リタードシステムは、優れた性能、燃費の良さ、そして正しい排気コントロールのためになくてはならないものです。

タイミングマークの典型例

メカニカルアドバンス

1. アイドリング回転数でのタイミングマークの位置を確認します。
2. タイミングマークを見ながら、ゆっくりとエンジン回転数を上げます。ただし、回転数が安全な範囲（通常 2,500RPM まで）を越えないようにして下さい。
3. 回転数が上昇するに従い、タイミングマークはスムーズに動くようになり、エンジンがアイドリング回転数へ戻ると、タイミングマークも最初の設定値へ戻ります。
4. タイミングマークが動かない場合、乱れた動きや連続的にジャンプをする場合、あるいは最初の設定値に戻らない場合は、メカニカルアドバンス機構のばねがくっついたり、磨耗したり、故障したりしていないかどうかを調べます。必要であれば、クリーニングや修理を行います。

バキュームアドバンス

1. バキュームホースをディストリビューターから取り外します。
2. アイドリング回転数でエンジンを作動させ、タイミングマークの位置を確認します。
3. タイミングマークを見ながら、バキュームホースをそれぞれのバキューム・アドバンスポートへ接続し、その後取り外します。
4. ホースが接続されると、タイミング・マークは新しい位置へ移動し、ホースが取り外されると、最初の位置へ戻ります。
5. タイミング・マークが動かなかったり、最初の位置へ戻らない場合、バキューム・アドバンス・メカニズムの汚れ、磨耗、部品の故障がないかどうか、また内部に亀裂がないかどうかを調べて下さい。 必要であれば、部品を交換して下さい。